

# おだひろみ ODA HIROMI

## 区議会レポート WINTER No.11



## 立憲民主党渋谷

住所: 150-8010  
渋谷区宇田川町1-1区役所13階  
電話: 03-3463-1042  
FAX: 03-5458-4967

## おだひろ応援会事務所

電話: 080-5434-0088  
FAX: 03-6478-8077  
e-mail: info@odahiromi.jp

## 小田浩美プロフィール

1965年生まれ 宮城県女川町出身 おとめ座 巳年

家族:夫・娘・息子 渋谷区東二丁目住37年

好きなこと: 料理、野球観戦、パワースポット巡り

尊敬する人: 両親 マハトマ・ガンジー 宮城学院中高の恩師



## 1987年 東二丁目で子育てスタート

娘が小学校入学と同時に働きながらの子育てスタート。  
ママ友やご近所さんは強い味方でした。

## 1999年 渋谷清掃工場建設問題で市民活動に参加

これが、その後政治に関わるきっかけとなりました。

## 2005年 衆議院議員馬淵澄夫 第46代国土交通大臣 公設秘書

## 2011年 東日本大震災発生

女川町の実家も 会社もすべて流され、親戚や友人が命をなくしました。馬淵澄夫議員が震災と原発事故担当の総理秘書官となり、休日も昼夜もない日々でした。



## 2014年 衆議院民主党秘書会事務局長

## 2016年 衆議院民進党秘書会会長

## 2016年 衆議院秘書協議会副会長

## 2017年 衆議院議員中谷一馬政策担当秘書

## 2017年 立憲民主党初代秘書会会長

できたばかりの立憲民主党を、みんなで育てていこうと奮闘しました。

## 2019年 渋谷区議会議員選挙で初当選(2005票)

「ボトムアップの政治を渋谷から」の思いで、国会議員を支えてきた経験を、今度は地域の皆さんを支える側として活かしていきたいと立候補。

## 現在

総務委員会  
官民連携事業調査特別委員会  
渋谷区防災会議委員  
渋谷消防団第二分団所属  
防災士  
日本秘書クラブ会員



## 令和5年 渋谷区議会

2月21日 火 から

## 第1回定例会が始まります

本定例会では令和5年度当初予算が審議されます。財政規模は、一般会計・特別会計(国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療)で過去最高額となる見込みです。

一般会計は、A子育て・教育・生涯学習、B福祉、C健康・スポーツ、D防災・安全・環境・エネルギー、E空間とコミュニティのデザイン、F文化・エンタテイメント、G産業振興、H区政運営の8つの分野で220以上の多岐に渡る事業予算が審議されます。

決算審議で指摘された事業も継続して予算配分されており慎重審査が必要です。

## 新規事業

19件

- 未来の学校プロジェクト推進支援業務
- 重層的支援体制整備事業
- ピアサポート事業 出産・子育て応援
- 帯状疱疹予防ワクチン接種費用助成
- トイレプロジェクト維持管理 など

## 臨時事業

15件

- 学校給食食材費高騰対策支援事業
- 障がい福祉推進計画策定
- スポーツ推進計画
- 耐震化緊急促進アクションプログラム個別訪問
- ハチ公生誕100年事業 など

## 拡充事業

24件

- 中学校部活動支援事業
- スクールカウンセラー活用事業
- 渋谷ユナイテッド運営費補助金
- 分煙対策費推進事業
- スタートアップ支援事業 株式会社創設 など

## 本会議、各委員会の傍聴

本会議場には、小さなお子様連れでも  
傍聴可能な親子傍聴席や車いすスペースもあります。



傍聴ご希望の方は、区役所13階の区議会事務局にお越しください。

区議会本会議

2月21日・22日・24日 13:00~

小田 浩美

# 令和4年第4回定例会で一般質問をしました。



## 女性の尊厳を守る施策について3点を問う

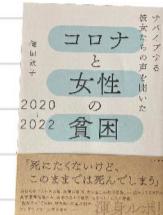
1891年に女性差別撤廃条約が発効されてから41年が経ちました。

しかし、いまだに女性差別が世界に存在しています。9月にはイランでスカーフのかぶり方が不適切だと逮捕された女性が、暴行され死亡するという事件がおきました。

女性の人生選択は多様化し、労働者として長く経済社会と係る時代になりましたが、女性が歩む環境には困難が多く、賃金格差にも見られるように不平等が存在します。社会の根底にある無意識の偏見、女性だ

からという アンコンシャス・バイアス 固定的な性別役割分担意識に基づく構造的な問題から未だに脱していない現実があります。

2020年11月、渋谷区幡ヶ谷のバス停で亡くなった女性は、コロナ感染症の影響で派遣の仕事がなくなりホームレスになりました。亡くなった時の所持金は8円だったそうです。その後、誰もが彼女のように得る社会だと、多くの女性たちが声をあげたことを深刻に受け止めています。



### 多様化するライフステージと女性の経済的自立について



#### 質問抜粋

- 男女ともに、ホルモンバランスやライフステージに関する学習を行っているか。
- 女性も経済的に自立して生きる学習の機会を創出しているか。

#### A 教育長

ホルモンバランスは小学校4年、中学校1年で学習する。ライフステージはキャリア教育として、中学2年で30歳の自分を想像しようというテーマで行っている。

### 女性職員のキャリアアップ支援体制について



#### 質問抜粋

- 女性職員の昇進昇格に際する障害は。
- 女性活躍推進計画の具体的な取り組みは。
- 女性職員のキャリアアップ支援体制の整備を。

#### A 副区長

キャリアアップすると忙しそう、責任が重い、出産、子育てと両立できないとの意見が多数。背景には管理監督者の働き方を見る機会がないため。座談会などで不安を解消していく。テレワーク制度、本格的フレックス制の導入を検討。人事DXの推進により、適切な情報提供などでキャリアアップを支援していく。

### 性犯罪・性暴力被害の対策について



#### 質問抜粋

- SNSやネット利用による児童生徒の被害は増え続けている。被害防止の専門チーム設置の検討を。
- チャイルドグローミングについてのヒアリングやアンケートの実施、調査を。
- 性犯罪、性暴力の支援センターなど、あらゆる窓口について積極的な周知を。

#### A 教育長

根絶に向けた取組み必要。セイフティ教室の実施。児童生徒は「そうだん」アイコンからSOSを発信でき、教員が把握して支援体制づくりをしている。支援センターは一覧を全校に通知。スクールロイヤー制度により弁護士の助言を踏まえ対応。対策チームは考えていない。

### WOMAN SHIFT

### 勉強会が11月18日に開催されました。

産婦人科医の稻葉可奈子先生から、避妊、中絶、包括的性教育、性行同意年齢、内密出産、特別養子縁組、不妊治療、TPVV等、女性を取り巻く課題について学び、問題点を共有しました。引き続き課題解決に取組んでいきます。



### 不登校の調査、支援の充実を



不登校の小中学生が急増し全国で過去最多の24万人となりました。不登校になるきっかけは、いじめ、学習の遅れ、集団活動が苦手、ヤングケラーなど原因は様々です。コロナ禍も一因しているかもしれません。11月現在、区立の小学生92人、中学生110人が不登校となっています(私立通学生は調査外)。行政の支援センターを利用するケースは1割程度少なく、支援の手が届いているとは言えない状態です。不登校の児童生徒の実態調査と、それぞれの問題に寄り添った支援コーディネーターの設置など体制の強化を求めていきます。

